

外郭団体ミッション遂行評価票

【平成30年度取組結果】

団体名	北九州埠頭 株式会社
-----	------------

所管課	港湾空港局 港営課
-----	-----------

団体に対するミッション
<p>①ガントリークレーン等の港湾施設のメンテナンス業務について、ノウハウの蓄積や人材の育成を行いながら、市に替わって実務を担うことで、港湾施設の24時間365日の安定稼働を実現し、信頼性の高い港湾運営に貢献する。</p> <p>②第3セクターの強みを活かし、国の制度に基づいた埠頭運営の効率化に向けて、中心的な役割(人材育成など)を担っていく。</p> <p>③これまで培ってきた高度なメンテナンス技術を活かし、地場企業の不得意分野に対する技術協力を推進し、地域産業の振興、競争力強化に貢献する。</p>

行財政改革大綱における見直し内容
<p>業務の徹底した効率化、コスト削減を図るとともに、これまでの業務遂行実績や技術力による優位性を生かした競争力の強化を図る。</p> <p>また、自主事業の収益拡大に向けて、これまで培った高い技術力やノウハウを最大限活かしながら、大型荷役機械等の保守点検業務の受注に向けた営業活動やその他PR活動等に取り組む。</p>

ミッションに基づく中期計画

3~5年後に目指す状態	平成30年度から門司地区の港湾施設については指定管理者制度を導入するため、利用者サービスの向上などこれまで以上に高い信頼性が求められる。老朽化する港湾施設に対応するため、更なる技術力の向上を図り、いつでも万全な状態で使用できるよう維持管理体制強化を目指す。
-------------	--

主な成果指標	年度ごとの目標及び実績（太枠は最終目標年度）							
	H28	H29	H30		R1	R2	R3	R4
	実績	実績	目標	実績	目標	目標	目標	目標
施設の稼働停止回数(ガントリークレーン)	平均年9回	平均11回/基	平均12回/基以内	平均10回/基	平均12回/基以内	平均12回/基以内	平均12回/基以内	
施設の稼働停止回数(その他施設)	平均年1回	平均年1回/施設	平均年2回/施設以内	平均年2回/施設	平均年2回/施設以内	平均年2回/施設以内	平均年2回/施設以内	
即応対応時間	平均68分	平均41分	平均2時間以内	平均66分	平均2時間以内	平均2時間以内	平均2時間以内	

ミッションの遂行状況の評価（平成30年度）

<p>団体における評価</p> <p>ガントリークレーン等の港湾施設の稼働停止回数、対応時間については、いずれも目標を上回ることができた。また、港湾施設の定時性の確保と埠頭運営の中心的役割を果たすため、日常の巡回点検を強化するとともに、社内勉強会や専門機関が行う講習会に積極的に参加し、北九州港の信頼性の向上に努めた。</p>	<p>市の評価</p> <p>ガントリークレーン等の港湾施設のメンテナンス業務について、施設の老朽化が進むなか、高い技術力により、限られた予算の範囲で、主な成果目標である24時間365日の安定した稼働を実現しており、信頼性の高い港湾運営に貢献していると評価している。</p>
<p>今後の課題及び見直し内容(案)</p> <p>一部のガントリークレーン等は供用開始後30年以上経過しており、安全性の確保とコストの抑制が課題となっている。平成30年4月から門司地区に指定管理者制度が導入されたことから、これまで分離されていた性能維持部門と埠頭運営部門の連携により、これまで培ってきた維持管理等のノウハウを最大限活かし、低コストで効率的な港湾運営の実現に向けた取り組みをさらに強化する。</p>	<p>団体への改善指導内容(案)</p> <p>港湾施設のメンテナンス業務における計画的な予防保全の実施、即応体制の強化や技術力の維持・向上に努めることにより、北九州港の安定稼働の継続を求めていく。</p>

その他～「行財政改革大綱における見直し内容」の取組み状況

見直しの分類	—
<p>自主事業の拡大に向けた取り組みとして、クレーンメーカーの要請により県外のガントリークレーンの点検や設備補修などを、複数の協力業者と連携し実施した。今後は、更に高いレベルで業務を遂行できるよう技術レベルの向上を図り、更なる受注に向けた営業活動やその他PR活動等に取り組む。</p>	